

婦人部で取り組んだ浜の清掃

八重山漁協婦人部 裁 富 子

1. 地域及び漁業の概要

私達の住む石垣市は世帯数11,430戸、人口41,739人で漁業を営んでいる者は495世帯で街の中心部にあり、混住化の進んだ地域であります。現在の漁業形態は、礁湖内における網漁業、ほこ突漁業および採介藻漁業などと沖合いにおけるカツオ一本釣、マグロはえ縄、底魚一本釣漁業に大別されています。

2. グループの組織と概要

私達婦人部は、昭和50年2月に結成し、現在70名の部員で、昭和57年度の活動目標として次の5項目を取り上げ活動をしております。

- (1) 合成洗剤の追放運動
- (2) 貯蓄推進運動
- (3) 海産物加工技術の習得
- (4) 先進地視察研修
- (5) 浜の清掃

この中から浜の清掃について発表致します。

3. 課題選定の動機

早朝出漁する数々のエンジンの音、それが私達漁民の主婦のめざめとなっており、冬の6時はまだ薄暗く、眠い目をこすりながら主人を漁に送り出すことから一日が始まります。南風が吹くと、船揚場の悪臭が鼻につき、キンバエが家の中に入り、ガラス窓は黒く汚れ、手におえないほどでした。と申し上げますのは、さし網漁業に従事する船が、25隻余りもあって商品価値のない物や、腐れた魚が一隻当りおよそ2kg、それが25隻ともなれば50kgの魚が海中や浜に投げ捨てられ、それがウジ、ハエ、悪臭の原因になっています。又、船の修理した後のブリキ、FRP片(プラスチック)、廃油、漂流木、ビニール袋、珊瑚のかけら等で大けがをした人は少なくありません。しかし、それは漁業者として当然のことの様に思い別に気にもとめませんでした。朝の漁港を観光客が見学に来て、ゴミをとび越えている姿に胸がつまる思いでした。よくもこの様な悪い環境の中で平気で仕事をしている自分自身が恥づかしくなり、私達がどうにかしなければいけないと、浜の清掃を婦人部員が一丸となり取り組む決意を致しました。

4. 実践活動の状況とその成果

まず婦人部の年間活動の中に取り入れ浜の環境の点検をしてみますと、表-1の様な問題が上げられました。

その対策として

- 1) 年2回の清掃日(共同作業)を定め部員全員が各々の持ち場の清掃に当り、部員以外の

漁業者婦人の協力を得るためにチラシの配布、掲示、スピーカーによる呼びかけをしましたが、なかなか参加してもらえませんでした。

2) 作業を進めてみると、ゴミの多いことにはびっくりしました。ゴミ袋、ホウキ、ポリバケツ運搬車の燃料費等、お金のかかることもわかりました。婦人部結成まもない私達には、予算がありません。そこで、漁業者から資金を少しでも出してもらおうことにし、主旨を理解してもらおうと共に一戸200円の資金集めに部員は一軒一軒訪問しました。その結果、心よく賛同し激ましてくれる者、コーヒーを飲むために200円を集めているのかと言われた時など、つらい思いをしましたが、きっと理解してもらえると我慢をしたものです。私達は、市役所、漁協等の協力を得る知恵もなくとまどっておりましたが、今では市役所からの助成金も頂き、そのうえ清掃日には運搬車の手配、協力などがあり更に日曜日を返上しての職員の協力には心をうたれ、全漁業者が立ちあがるきっかけのひとつにもなっております。

3) ゴミカゴ設置の問題解決に当り海のゴミは生ゴミやブリキ等特殊な物が多く、あれこれ考え、ドラム缶を設置し利用する様にしましたが、回収作業がスムーズにいかず再び悪臭の発生等もありましたが、今では浜は自分達の庭の様なものであると云う一人一人の意識の高まり、汚したつど片づけをしようと“毎日運動”を展開し家族ぐるみ、地域ぐるみで実行しているため、さほどのゴミも出なくなりました。

4) 実施して7ケ年にもなりますと、実施区域も図-1の様に広がり、取り組みに参加する部員も表-2の様に増えてまいりました。作業内容も海中は青年部や壮年が、浜は婦人達と役割を分担し、みんなで海を美しく安全な場として守っております。

5) これからの活動を通して一人一人の心のふれあいが持たえたこと、集合時間が守られるようになったこと、市や県の社会活動にも皆が関心を持ち、産業まつりでバザーや特産品を大切に育てて行こうと他組織との連けいが取られるようになった事など浜の清掃を通じて大きな成果が得られました。

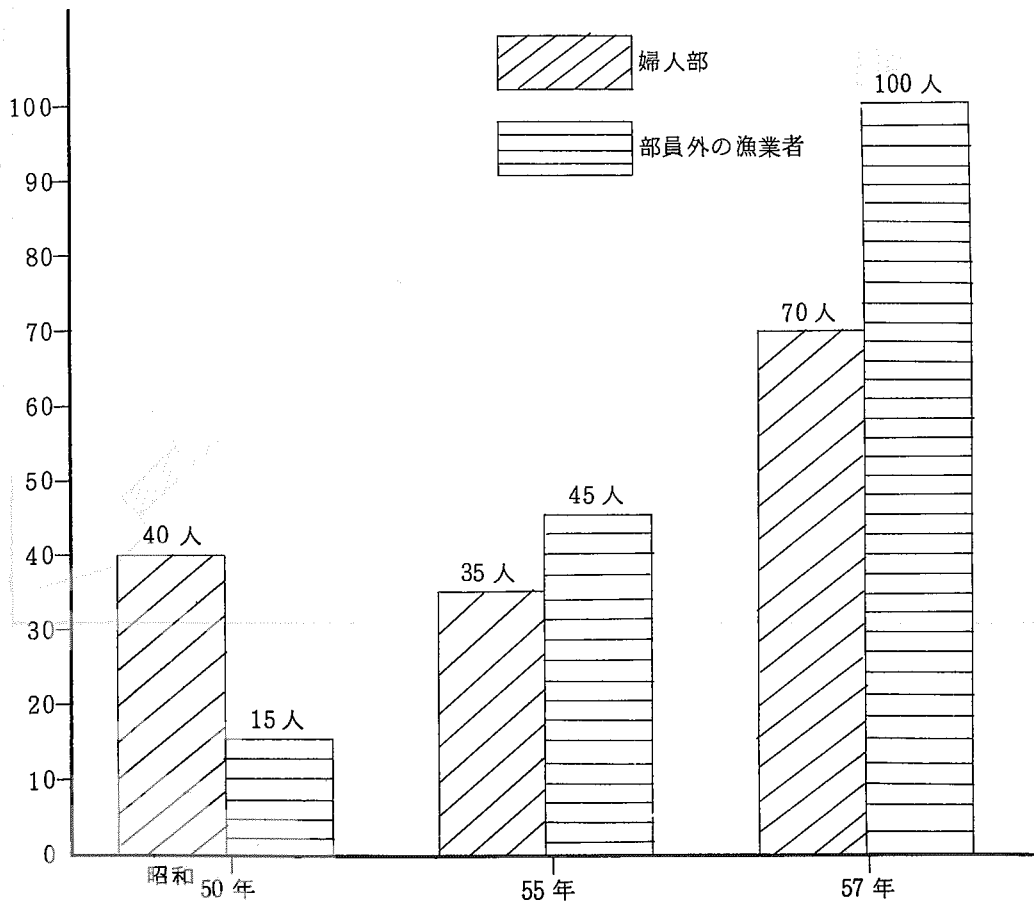
6) おわりに

これからも婦人活動として、海をきれいにする運動（海浜の清掃、合成洗剤追放運動）と他の活動項目の積極的な推進、併せて漁業者の健康管理活動など関係機関のご指導をおおきながら、漁村婦人部の力と心を結集し、住み良い漁村づくりに頑張っていきたいと思っております。

表-1 問題点

- 1) 魚類が浜や海に捨てられ、ハエ、ウジ、ゴキブリ等の発生源になっており、悪臭がある。
(生ゴミが多い)
- 2) 船の修理した後片づけがされていない。
(ブリキ、木片、廃油、ボロ布等)
- 3) 南風による海からの漂流木、ビニール、珊瑚の破片が多い。
- 4) 青ノリが船着場に附着し、作業中危険である。
- 5) ゴミカゴがなく、空ビン等の処理に困る。
- 6) 子供達の遊び場として使っている。
- 7) 船着場に休憩所がない。
- 8) 共同作業の場所を個人が片づけることはバカらしいと思っている。
- 9) 家庭のゴミを夜こっそり浜に捨てる人がある。

表-2 清掃参加人数



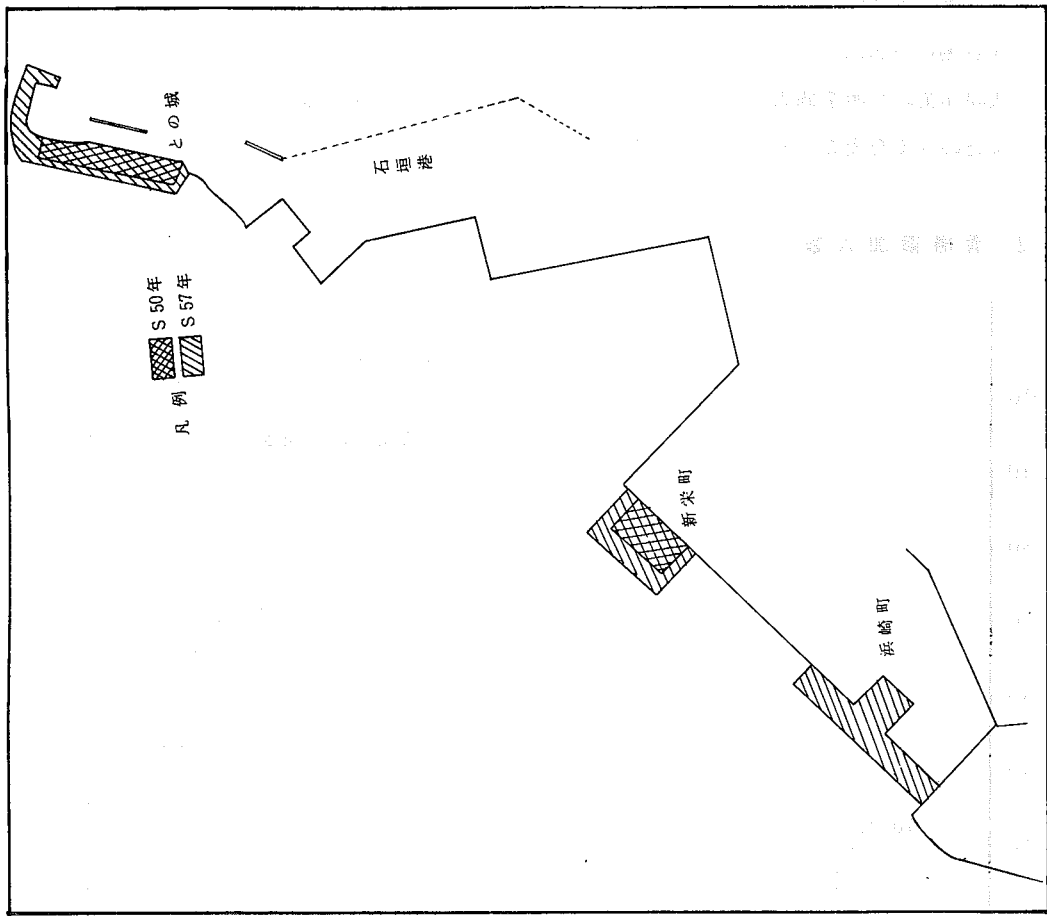


図-1 浜の清掃区域